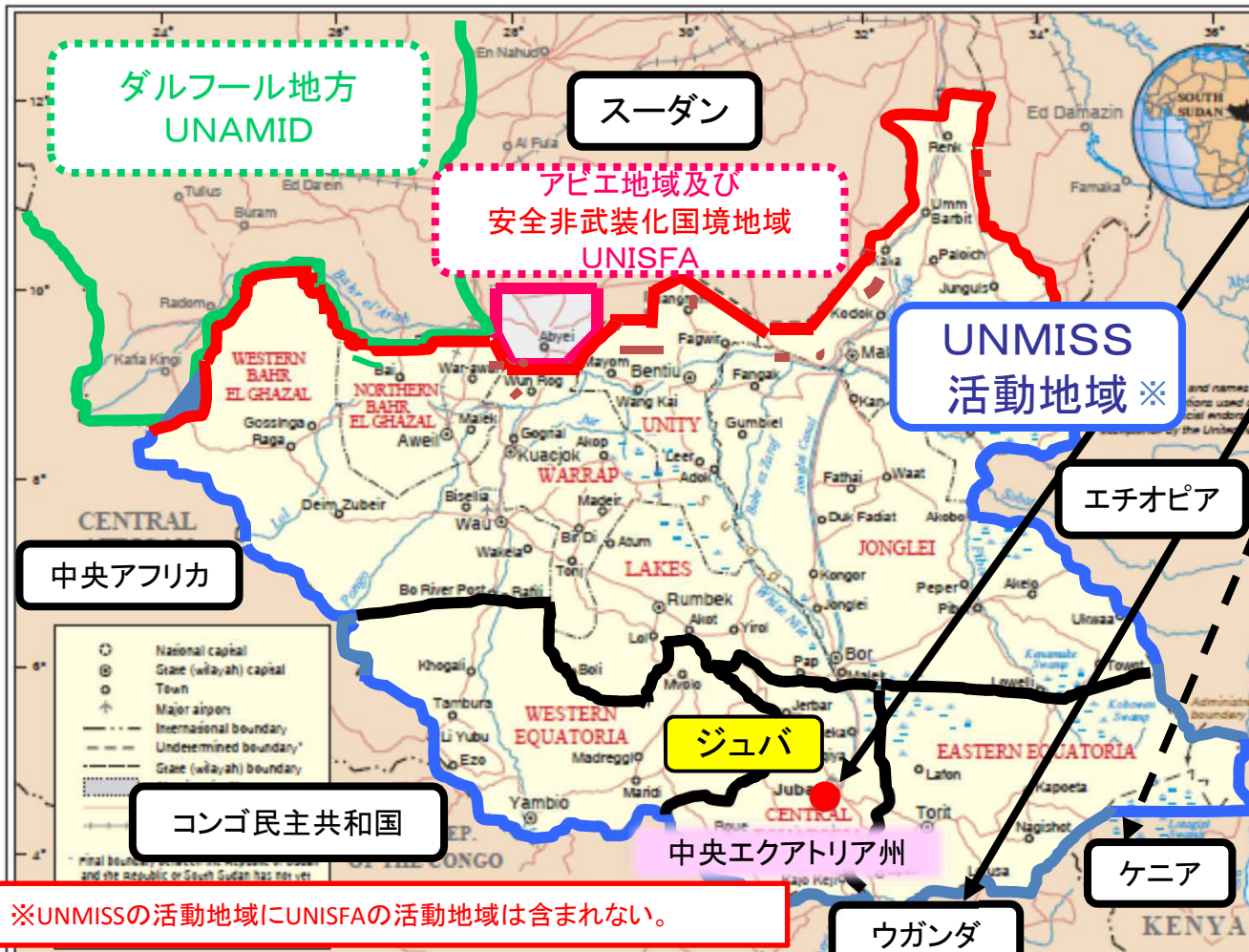


UNMISSにおける自衛隊の活動について

防 衛 省
平 成 2 7 年 3 月

国連南スーダン共和国ミッション(南スーダンPKO)の活動



※UNMISSの活動地域にUNISFAの活動地域は含まれない。

ウガンダ(※必要に応じてケニアに配置)	
対外調整班ウガンダ組	約10名
首都 ジュバ (UNMISS司令部所在)	
司令部要員	4名
施設部隊(7次要員)	約350名

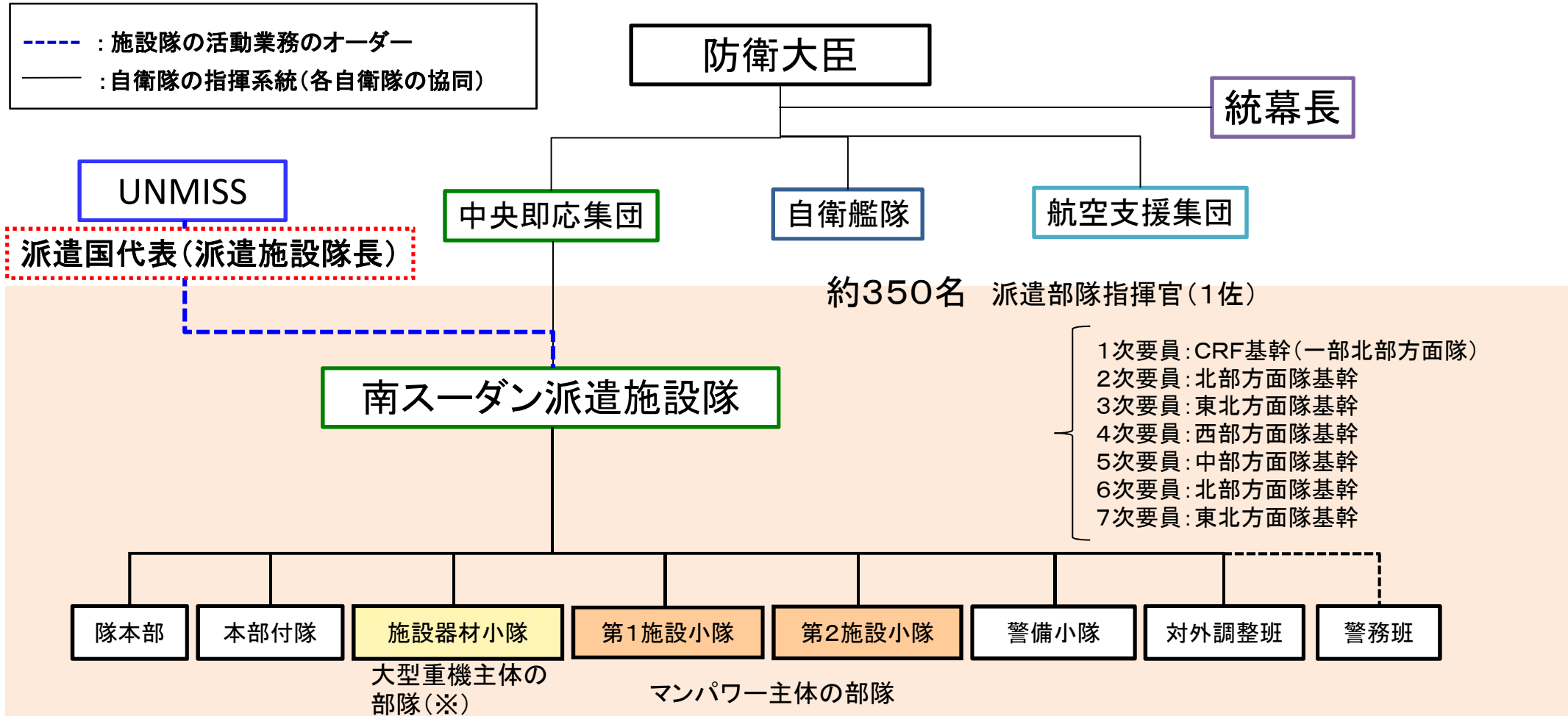
部隊等派遣の経緯等	
平23. 7. 9	南スーダン共和国独立に伴い、UNMISS設立
平23. 11. 15	実施計画(司令部要員)の閣議決定
平23. 11月、平24. 2月	第1次司令部要員派遣
平23. 12. 20	実施計画変更(施設部隊等派遣)の閣議決定
平24. 1月～3月	施設部隊等第1次要員を順次派遣
平24. 5月、6月	施設部隊等第2次要員を順次派遣
平24. 5月、7月	第2次司令部要員派遣
平24. 11月、12月	施設部隊等第3次要員を順次派遣
平24. 12月、平25. 1月	第3次司令部要員派遣
平25. 5月、6月	施設部隊等第4次要員を順次派遣
平25. 5. 28	派遣施設隊の活動地域拡大に関する自衛隊行動命令発出
平25. 7. 13	第4次司令部要員派遣
平25. 10. 15	実施計画変更(人員増加等)の閣議決定
平25.11月、12月	施設部隊等第5次要員を順次派遣
平26. 1. 4	第5次司令部要員派遣
平26. 5. 13	派遣施設隊の編成変更に関する自衛隊行動命令発令
平26. 5月、6月	施設部隊等第6次要員を順次派遣
平26. 6. 28	第6次司令部要員(情報及び施設幕僚)派遣
平26. 10. 21	実施計画変更(司令部要員追加派遣等の閣議決定)
平26. 11月、12月	施設部隊等第7次要員を順次派遣
平27. 1	第6次司令部要員(兵站及び航空運用幕僚)派遣
今後の活動に関する日程	
平27. 5. 30	国連マンデート期限
平27. 8. 31	実施計画期限

- UNMISSの任務**
- ①文民保護
 - ②人権状況の監視及び調査
 - ③人道支援実施の環境作り
 - ④敵対行為の停止等に関する合意の実施支援

- 司令部要員の主要業務**
- 兵站幕僚: UNMISS軍事部門司令部において軍事部門の兵站全般の需要に関するUNMISS部内の調整
 - 情報幕僚: UNMISS統合ミッション分析センター(JMAC)においてデータベース管理
 - 施設幕僚: UNMISSミッション支援部において施設業務に関する企画及び調整
 - 航空運用幕僚: UNMISSミッション支援部において航空運用に関する情報収集及び調整

南スーダンPKO派遣部隊の編成（第7次要員）

----- : 施設隊の活動業務のオーダー
----- : 自衛隊の指揮系統(各自衛隊の協同)



主要な施設器材及び車両 計約180両

				
ドーザ	グレーダ(※)	油圧ショベル	バケットローダ(※)	軽装甲機動車

主要な武器

		
9mm拳銃	89式小銃	5.56mm機関銃 MINIMI

自衛隊施設部隊の活動内容の変遷

旧マンドート(国造り)

現マンドート(文民保護)

2012～2013

2014～

国造り

避難民支援活動
(国連施設内)

人道支援実施の環境作り
・文民保護支援
(国連施設内／外)

最近の活動



幹線道路の整備(ジュバ
イエ線)2012.10～



ジュバ大学の敷地造成
2013.1～2013.3



コミュニティ道路の整備
(ODA連携)
2013.1～2013.11

治安情勢の悪化



避難民への医療活動



避難民への給水活動



避難民用衛生設備(トイレ)の設置



避難民保護区域の敷地造成
2014.1～2014.5



避難民保護区域の警備用
外周道整備 2014.6～2014.8



市内幹線道路の補修
2014.7～



ジュバ空港の誘導路排水整備
2014.7～2014.10

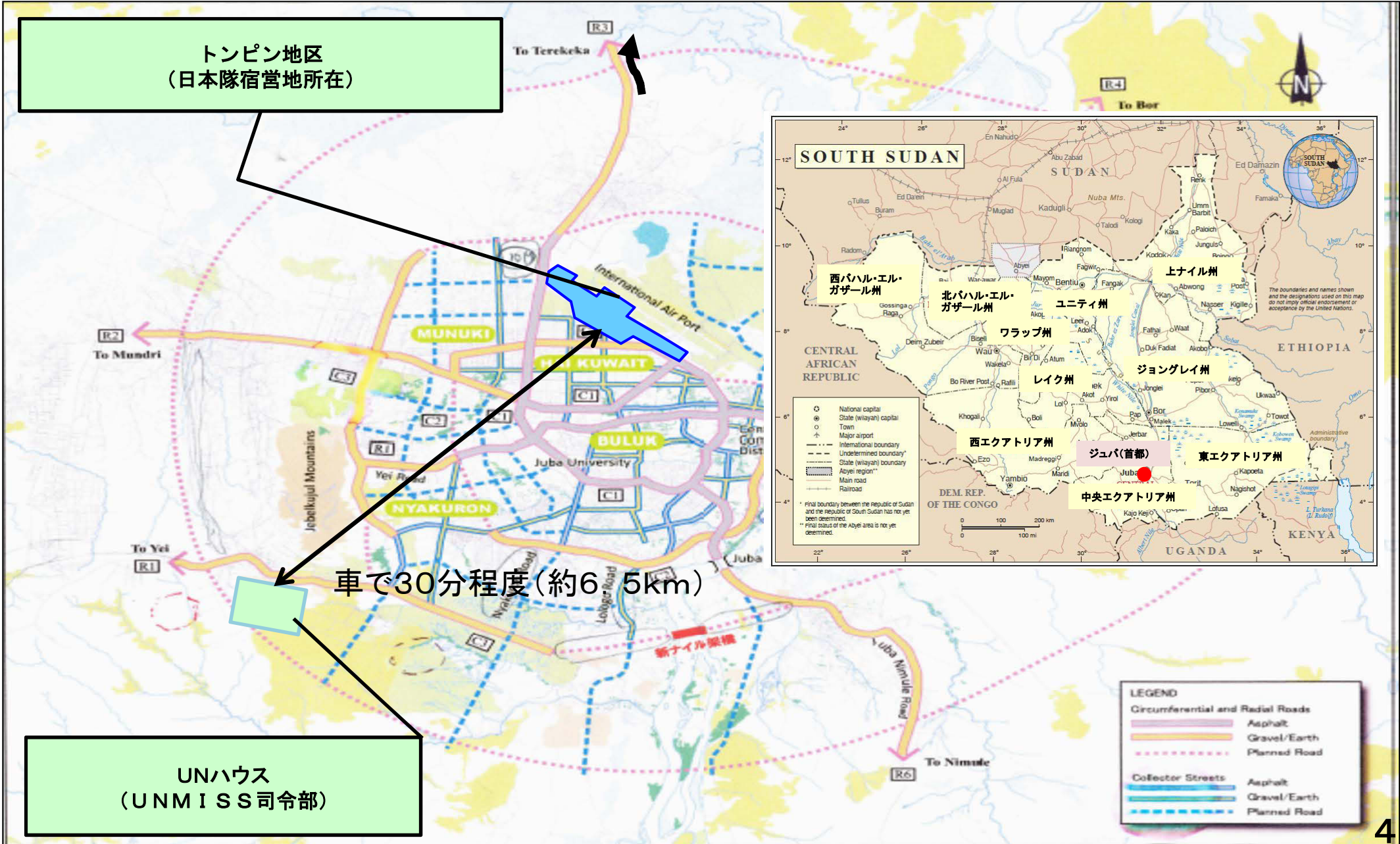


他国部隊用コンテナの
設置 2014.8～



国営放送局の側溝整備
(同局ではJICAがODA事業で人
材育成支援を実施) 2015.2

地図



ODAとの連携について

○国際平和協力活動に効率的・効果的に対応するため、南スーダンにおける自衛隊施設部隊の活動に当たっても、ODAやNGO等との連携を重視し、オール・ジャパンとしての連携活動を実施。

(なお、H25年12月の治安情勢の悪化を受け、JICA事務所が国外退避していたため連携活動は一時中断していたが、昨年11月のJICA復帰以降、連携再開を模索中。H27年2月には、JICAが長年、人材育成支援を実施してきた南スーダン国営放送局の敷地造成を施設隊が実施している。)

ODAとの連携の例

浄水場内老朽化施設の解体: ジュバ市浄水場に存在していた老朽施設を解体。UNMISS日本隊として、UNMISSと調整の上、国際協力機構(JICA)が行うジュバ市浄水場能力強化のためのプロジェクトと連携し、政府開発援助(ODA)と連携した初の案件。

ナバリ地区コミュニティ道路整備: 草の根無償資金協力によって調達された資材を使用し、コミュニティのための生活道路及び排水のための側溝を整備。また、事前作業として活動現場の清掃作業を地元住民と協力して実施。作業に当たっては、政府雇用の現地作業員による排水溝の石積を実施。

ジュバ市浄水場内老朽施設の解体
(H24.10(2次要員)、H25.7(4次要員))



作業前(左)と、作業後の様子(右)。

ナバリ地区コミュニティ道路整備(H25.1-11(3次要員~4次要員))



路面浸食の状況(上左)と、降雨時の冠水状況(上右)。整備後(下)。



活動地域における地元住民との清掃作業(左)と、道路整備作業の様子(右)。



国際機関及び他国派遣部隊等との連携について

国連機関との連携の例



WFP敷地内道路等整備作業

自衛隊がジュバ市内の国連世界食糧計画(WFP)敷地内の道路及び駐車場の整備を実施。



UNHCR帰還民一時収容施設の敷地造成

国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)帰還民の一時収容施設建設のため、自衛隊が敷地造成及び簡易木造施設の建設を実施。



横断歩道舗装プロジェクト(民生協力活動)

UNICEF主催の現地小学生を対象とした横断歩道の塗装イベントに対して、豪軍、インド軍要員と連携して参加し、小学生への指導を共同で実施。

他国部隊等との連携の例



ジュバ大学新キャンパスモニタリング作業

UNDP事業で新キャンパスを建設するにあたり、豪軍要員とともに、自衛隊(装備施設本部の技官)が施行状況のモニタリング(施行管理)を実施。



ルワンダ隊へのコンテナ構築支援

ルワンダ航空部隊居住コンテナ構築支援を実施。



ジュバ市孤児院グラウンド整備

インド歩兵部隊と連携し、ジュバ市孤児院においてグラウンド整備を実施。

UNMISSの状況（部隊展開状況）



国際平和協力活動に使用される施設器材等

<中型ドーザ>

○諸元

- ・全 長 5,430～ 6,450mm
- ・全 幅 3,970～ 4,170mm
- ・全 高 2,995～ 3,185mm
- ・全備重量 1,610～1,720kg



<油圧ショベル>

○諸元

- ・全 長 9,350～ 9,490mm
- ・全 幅 2,810～ 2,990mm
- ・全 高 3,050～ 3,070mm
- ・車両総重量 20,000kg



<グレーダ>

○諸元

- ・全 長 7,890mm 全 幅 2,380mm
- ・全 高 3,520mm
- ・車両総重量 12,060kg



<バケットローダ>

○諸元

- ・全 長 7,045～ 7,160mm
- ・全 幅 2,450mm
- ・全 高 4,855～4,955mm
- ・車両総重量 10,420～10,810kg



<浄水セット、逆浸透型>

○諸元

- ・浄水量 3.5t/h (70t/日)
- ・貯水能力 10t